

Case : 67

歩行車に座ろうとした時、転倒しそうになる

場面の説明

ブレーキをかけずに座ろうとした際、歩行車が動きバランスを崩した



利用シーン	 立ち座り
	 外出
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

歩行車のいす部分に腰掛けるときには、ブレーキを確実にかけることが重要です。ブレーキがかかっているにもかかわらず、歩行車自体は軽量であり、立ち座りの際には動きやすいため、過度にハンドルに頼ったり、勢いをつけて動作をする人には不向きな場合があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ブレーキをかけ忘れていた
- 人：安全にゆっくりと座ることができる脚力がなかった
- モノ：座るときは必ずブレーキをかけるよう注意喚起をする表示が目立たなかった
- 環境：このような危険に対し、注意を喚起してくれる人が周囲にいなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 67

歩行車に座ろうとした時、転倒しそうになる

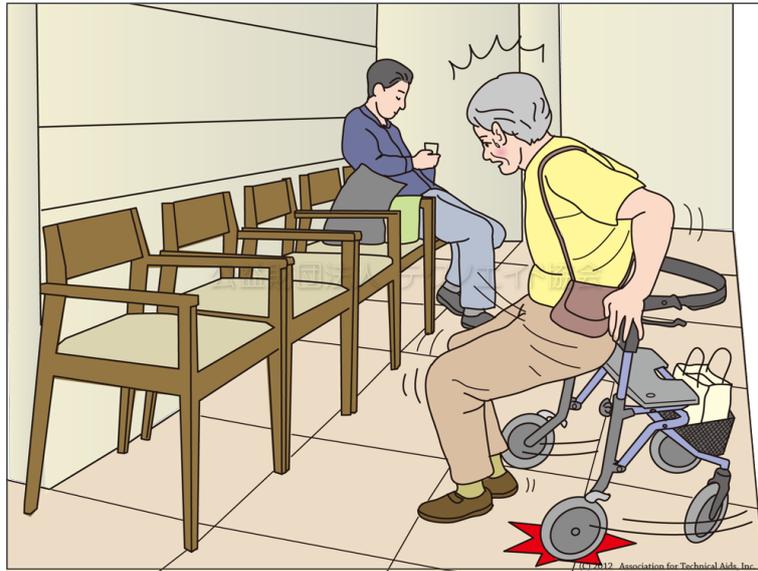
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ブレーキをかけずに座ろうとした際、歩行車が動きバランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ